



しろくまだより

- 温暖化で絶滅の危機『しろくま』を救え in やつしろし -

編集/発行 2013.5.24 八代市環境課 TEL33-4114

《今回の記事》

- ・節電のお願い
- ・平成25年度「やつしろ緑のカーテンコンテスト」応募者募集
- ・油流出事故に注意しましょう！

『ごみ非常事態宣言』継続中

6月5日は「環境の日」です。また6月を「環境月間」としており、全国で環境に関する行事や活動が予定されています。

市内でも、6月2日(日)を中心に、町内で一斉清掃が行われます。

みなさんも、この機会に身近な環境問題について考えてみましょう。

節電のお願い

夏はエアコンの使用などにより電力需要の増加が予想されることから、電力の安定供給のため次の期間・時間帯において、無理のない範囲で可能な限りの節電が呼びかけられています。

7月1日(月) から 9月30日(月) の 平日（8月13～15日を除く） 9時から20時
（今年は、節電の具体的な数値目標はありませんが、目安として、昨夏の節電の約8割とされています。）

※ 家庭では、夏の電力需要のピークは13時から17時頃に発生しますので、この時間帯での節電が特に重要です。

次のような節電の取組がおすすめです		節電効果
 エアコン	・室温28℃にする ➢ エアコンの設定温度を2℃上げた場合	10%
	・「すだれ」や「よしず」などで窓からの日差しを和らげる ➢ エアコンの節電になります	10%
	・無理のない範囲でエアコンを消し、扇風機を使用する ➢ 除湿運転やエアコンの頻繁なオンオフは、電力の増加になる場合があるので、ご注意ください。扇風機を上手に併用しましょう。	50%
 冷蔵庫	・冷蔵庫の設定を「強」から「中」に変え、扉を開ける時間をできるだけ減らし、食品をつめこまない	2%
 照明	・日中は不要な照明を消す	5%
 テレビ	・省エネモードに設定するとともに、画面の輝度を下げ、必要な時以外は消す ➢ 標準→省エネモードにし、使用時間を2/3に減らした場合	2%
 ジャー炊飯器	・電力使用が少ない早朝にタイマー機能で1日分まとめて炊いて、冷蔵庫や冷凍庫に保存する	2%
 待機電力	・リモコンの電源ではなく、本体の主電源を切る ・長時間使わない機器はコンセントからプラグを抜く	2%

平成25年度「やつしろ緑のカーテンコンテスト」応募者募集

市では、地球温暖化対策の一つとして、住宅等に緑のカーテンの普及を図り、楽しみながら夏の省エネルギーを促進するため、「やつしろ緑のカーテンコンテスト」を実施します。

みなさまのご応募をおまちしています！

緑のカーテンとは？

ゴーヤやキュウリ、アサガオなどのつる性植物を家の窓の外側に這わせて作る自然のカーテンのことです。夏の日差しを和らげ、室温の上昇を抑えることができます。



応募部門

市民部門 … 一般住宅、アパート・マンション等で取り組まれた個人
学校部門 … 学校、幼稚園、保育園など
団体部門 … その他、工場、事業所など



応募方法

9月27日(金)(必着)

応募用紙に必要事項を記入し八代市環境課へ持参、郵送または電子メールで提出してください



審査基準

- ・生育状況（出来ばえ、大きさ）
- ・効果（涼しさ、省エネ効果）
- ・創意工夫（設置・栽培時の工夫）など



表彰

最優秀賞(各部門1点) … 賞状及び副賞(商品券5万円分)
優秀賞 (各部門2点) … 賞状及び副賞(商品券1万円分)



【お問合せ・応募先】 八代市役所 環境課 〒866-8601 八代市松江城町1-25
Tel 0965-33-4114 / E-mail kankyo@city.yatsushiro.lg.jp

※ 応募要領・応募用紙は、市ホームページのほか、市役所、支所、公民館、ホームセンター等で配布しています

油流出事故に注意しましょう！

もうすぐ梅雨の時期が到来しますが、毎年この時期は油の流出事故が後を絶ちません。管理不足や不注意により、家庭や事業所からてんぷら油や重油等が流れ出したことが、主な原因です。

給油の際や油の保管・管理には十分に注意しましょう。また、家庭では、てんぷら油は適切な処理をしましょう。

※ 流出した油の回収・処理には多額の費用がかかり、かかった費用は原因者が負担することになります。

※ 事故を起こした場合や発見した場合は、関係機関（市役所・八代保健所・消防署・警察署など）に速やかにご連絡ください。



6月2日（日）、7月7日（日）は『やつしろ環境の日』です

八代市では、毎月第1日曜日を『やつしろ環境の日』、『やつしろ健康の日』としています。地球が喜ぶ生活をおくこと（CO₂ダイエット）は、私たちの体も喜ぶ生活（体重ダイエット）につながります。通勤やご近所への買い物時には自転車を利用してみるなど、環境や健康面を考えたライフスタイルに変えていきましょう。

